

ハイライトよねやま 5 2

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年6月11日発行

1. 寄付金速報 ~残りあと1ヵ月

5月までの寄付金は、前年同期と比べ5.5%減、約8千万円の減少です。普通寄付金が3.4%減、特別寄付金が6.4%減です。今年度も残り1ヵ月を切りました。まだ普通寄付金を納入されていないクラブは、速やかにご送金くださいますようお願いいたします。普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日(水) 当会口座入金分までが今年度の寄付実績となります。前年度寄付額に少しでも近づけていただけるよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 大阪国際大会『友愛の家』に米山記念奨学会が初出展 ~ブース来訪者300名を超える~

米山奨学会では、5月22日(土)~26日(水)の5日間、大阪国際大会の『友愛の家』に出展し、事業紹介の展示を行いました。RI国際大会に米山記念奨学会が参加するのは初めてのことであり、国際大会(関西)実行委員会の皆さまをはじめ、多くの関係ロータリアンのご尽力をもって実現しました。ブース来訪者は300名を超え、日本のみならず、世界各国のロータリアンに、米山奨学事業を知っていただく絶好の機会となりました。



国内外のロータリアンが来訪

エピソード1: 韓国ロータリアンからのご寄付



李 庠根 P.G.

国際ロータリー第3710地区南光州ロータリークラブ(韓国)の李 庠根氏がブースに立ち寄られ、2万円をご寄付くださいました。李氏は、昨年の日韓親善会議でも、フォーラムのパネリストとして活躍した米山学友に感銘を受けて、ご寄付されています。「米山奨学会がアジアの学生を支援し、平和使徒を送り出していることに共感しています。今後、少しでも貢献できるよう、米山功労者を目指して寄付を続けていきます。」とお話されていました。

エピソード2: 米山学友来訪! ロータリアンとして、ボランティアとして

台湾や韓国からは、母国でロータリアンとなった米山学友も訪ねてくれました。また、同大会では、中国・韓国・台湾・タイ・ベトナム・ルーマニア出身の28人の米山奨学生・学友が通訳ボランティアとして活躍しました。



台北大同 RC 会員
黄 國慶(台湾)

【81-82/日本文理大学/大分南 RC】



語学ボランティア・
関西学友会会長
陳 麗華(台湾)

【87-89/奈良教育大学/奈良 RC】

台北東海 RC 会員
林 華明(台湾)

【84-86/慶應義塾大学/東京世田谷 RC】



表彰制度を改定しました! 本年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

3. 1,003名の米山奨学生が新たなスタート ～各地区でオリエンテーション開催～

主に新規奨学生を対象としたオリエンテーションが、各地区で5月に一斉に開催されました。理解と交流を深めるために、(1)先輩奨学生から米山奨学生としての体験談 (2)カウンセラーと奨学生でペアにした席次 (3)奨学生の指導教官を招き、理解促進と同時に今後の結束を固めるなど、地区独自でさまざまな工夫を凝らしています。これから、クラブや地区の行事で米山奨学生を見かけられましたら、ぜひ気軽に声をかけて、交流を深めていただきたいと思います。

4. カウンセラー同士の情報交換 【カウンセラーひろば2004】開設

2004 学年度の米山カウンセラーで希望者の皆さまを対象に、メーリングリストによる意見交換の場、【カウンセラーひろば2004】が5月21日からスタートしました。

奨学生と接するうえで、“他のカウンセラーはどうしているのかな？”というちょっとした疑問点や体験談など、実践的な議論・情報交換が盛んです。同じ立場のカウンセラー同士うち解けた雰囲気、早くも「こんなに心強いものであるとは思ってもよらなかった」との声が出ています。参加者は随時募集しています。お近くのカウンセラーにも、ぜひ声をかけてみてください。

メーリングリスト参加申し込み counselor@rotary-yoneyama.or.jp

5. 「2006年度制度改編の理解促進アクションプラン」発進！

米山奨学会では2006年度の制度改編に向けて、新たなスタートを切りました。第2期基礎調査の結果を土台として、いかに多くの皆さまから意見を頂くかこれを目標にしたのが、『2006年度制度改編の理解促進アクションプラン』です。

『よねやまだより』での広報やシンポジウム開催をはじめ、今後さまざまな活動を企画しています。基礎調査結果をまとめた総合報告書を、米山役員の皆さまを始め、各クラブにも1部ずつ配布いたしますが、ご興味のある方には別途お送りいたしますので、お気軽に米山奨学会事務局（担当：栗原・野津）までご連絡ください。



6. 前年に続き、民間助成額第1位に

(財)助成財団センター(東京都・新宿区)が4月に発表した「年間助成額上位100財団(2002年度)」では、前年に続いて、ロータリー米山記念奨学会が民間主導型財団で1位となりました(全体では4位)。同センターによると、助成額が年間5億以上の財団は14件で全体の2%ですが、助成金額に占める割合は全体の45%に上ります。その中であって、民間1位の米山奨学会の存在は、非常に大きなものであることは言うまでもありません。ご興味のある方は、下記のアドレスからご覧ください。【資料提供：(財)助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>】

助成等事業費上位100財団リスト：<http://www.jfc.or.jp/bunseki/rank.grant.html>

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：^{みな}峯・^{のづ}野津・^{おおほ}大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8階
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>